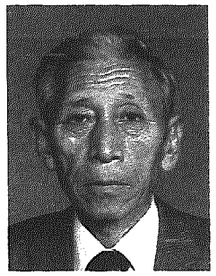
一九九七年 あけまして おめでとうございます



「緑あふれる文化のまち黒埼」
―「心」のふれあういきいき黒埼をめざして―

黒埼町長　浅妻武一郎

新年おめでとうございます。

一九九七年の初春を迎えて、町民の皆様に謹んで新年の御祝辞を申しあげます。

年頭に当たって私は、

「ふるさとの豊かさ築く人の道」

と詠ませていただきました。

二十一世紀に向けた新しい故郷（ふるさと）づくりをめざして各地において、国土づくり、地域づくりを考える催しが盛んに行われております。

地方の時代が叫ばれてから久しく、地方分権の確立や規制緩和による権限委譲が推進されようとしている現在、新たな地方自治の構築に向けて、明確な将来構想とその目的に立ち向かう決意を持って、五年先、十年先を語ることのできる町づくりを進めるためにも、人の和を大切にして共助、共存、共栄の精神をもってこれからの施政に取り組む所存であります。

昨年は小選挙区比例代表並立制による新しい選挙制度のもと、衆議院選挙が十月二十日に行われ、その結果、第二次橋本内閣が誕生しました。

新内閣が今後最大の課題としているのは、昨年から本年にかけて生じた綱紀粛正問題と、行政の歪みから生じた制度の見直しを図ろうとする政治改革の実行であります。

また、新食糧法によって「作る自由」が認められたにもかかわらず、コメの三年連続の豊作は、米価審議会において価格より減反面積の取り扱いが焦点となる状況を生じました。

農業の活性化のためにも、今後、減反政策の再構築は必要であり、将来への展望が開ける農政の在り方が望まれるところと思われます。

当町としては、第四次総合計画が第二年度を迎え「緑あふれる文化のまち黒埼」―「心（しん）」のふれあういきいき黒埼をめざして―の各種施策が積極的に実施されるよう取り組むこととしているところであります。

特に、新潟都市圏のほぼ中心部に位置している当町は、高速交通時代における要衝として、平成九年完成が見込まれる磐越自動車道の全通に向けて、高速道路網の整備とネットワーク化、新潟大外環状線及び構想として推進を図る黒埼南インターの建設、国道八号と一一六号線と接続する新々バイパスなどと共にアクセス道路の整備、光ファイバーの活用等、二十一世紀に繋（つな）ぐ新たな新潟都市圏を構築するものとして、また、町の未来像を一段と止揚するものとして、今後の取り組みが期待されるものと

新年のごあいさつ

新潟市合併は、慎重に協議の上、町民の合意に基づく合併を推進

黒埼町議会議長　成海　助

新年おめでとうございます。町民各位におかれましては、清々しい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

新年にあたり、黒埼町議会を代表して皆様に謹んでご挨拶申し上げます。

本町は新潟市郊外にあって、町民の快適な生活環境づくりと、豊かな水と緑に恵まれた都市と農村が調和した衛星都市をめざして、行政にあたってまいりました。

また、今日、緒立・的場に次いで北部土地区画整理事業が完成し、下水道完備の優良住宅地が完成いたしました。

農村総合整備事業にあっては、昭和五十五年から平成七年度迄の十七年間にわたり、農業環境施設整備に取り組み、農村公園、宮のもり木場城公園の完成は、モデル事業の最後の仕上げとも言える都市型の農村環境整備が、一応の完了をみたわけであります。また、ふれあいロード環境整備事業にあっては、山田・立仏地域の宅地開発が進み、農業用水路がふれあいロードとして地域住民が安全で明るく憩う語らいの場となり、排水路施設が下水道施設として機能し、整備され生まれ変わりました。

さらには、北陸自動車道に黒埼南インターと六市町村を結ぶ、新潟大外環状線をジョイントとして、その周辺の開発整備を進める構想が浮上し、正に県都新潟都市圏域として、今後益々土地区画整理事業の推進と相まって、自然環境を醸成し衛生的・健康的な町づくりに邁進しなければならないと考える次第であります。

また、今日、町の大きな問題として、マスコミを賑わしております新潟市合併問題にふれてみたいと思います。

平成五年十二月町議会において、町民から提出された「合併推進についての陳情」を採択、以来町の存亡に係わる重要問題として慎重に検討を重ねて、先般、第七回の任意合併協議会で行政制度の調整を進めたことを思っております。

昨年、十一月二十五日に第七回任意協議会が開催され、これからの協議には建設計画を併設して協議することの合意がなり、新潟市との合併問題に一段の前進が見られることとなりました。これは、ひとえに努力いただいた委員各位の熱意の賜物であり、議会並びに町民各位の御理解を得ながら、新潟市と合併問題に積極的に取り組んでまいりたいと考えておりますので、御支援と御協力をいただけるようお願い申しあげる次第であります。

終りに臨み、本年も町民の皆様にとって幸多い一年であるよう心から祈念し、新年のごあいさつといたします。

結果、ほぼ調整案について合意が計られました。

今後は、残る行政制度と並行して、町地域のビジョンともいうべき合併建設計画の策定と、両市町の調整案づくりへと着手することとなりました。係る施策を慎重に協議の上、成案がなされた場合は、速やかに住民説明会を実施して、町民の皆様の合意に基づく合併を推進すべきものと、考える次第であります。

いずれに致しましても、町づくり行政にあたりましては、執行機関と相協調して、最大の行政効果を上げるために努力をいたす所存であります。

今後とも何卒行政発展の御支援・御協力を賜りますよう切にお願い申し上げる次第であります。

終わりに臨み、本年も町民の幸多い年でありますよう、心からお祈り申しあげまして、新年のごあいさつとさせて頂きます。